

～ 地域の農業を守る ～  
藤田 準さん(新居浜市)

「株式会社 百姓屋、藤田」代表取締役  
新居浜市青年農業者協議会会長 1982 年生まれ  
フェイスブック <https://www.facebook.com/hyakushouya.fujita>



☆経営概況☆

水稻の生産・販売・加工及び作業受託を中心に、露地野菜の栽培も行っています。

水稻作付 7.5ha、水稻作業受託延べ 20ha、乾燥・調製 80 t (20ha)。加工品製造販売。露地野菜 10a (ニンジン、カブ等)

☆ここがポイント☆

実家は兼業農家でしたが、やるならばとことん農業をしたいと考え、平成 16 年から専業農家となり、平成 28 年 1 月に「株式会社 百姓屋、藤田」を設立しました。当初 80a 程から始めた農業でしたが、地域の農業者から信頼を得て、土地を預かるようになり、**現在も規模を拡大**しています。

地域では高齢化が進んでおり、農地の維持・管理が難しくなっています。そこで、**自社でライスセンターを開設**し、水稻の作業受託を積極的に行うことで、地域農業を支えられるよう努力しています。

水稻については、消費者ニーズに合わせた品種を減農薬で栽培することにこだわっており、学校給食への供給、飲食店や個人への販売を行っています。

**お米の加工品開発**にも取り組んでおり、現在は自身の栽培したお米をポン菓子へ加工し、地域のイベントや結婚式の引き出物としての販売や、加工受託も承っています。

工業都市として発展してきた新居浜市は、農地の基盤整備が進んでおらず、圃場の数が多くなります。そこで、収穫期には**シェアリングの大型コンバインも導入**し、効率的な作業を行うことで、適期刈り取りを行い、作業受託数を増やしています。

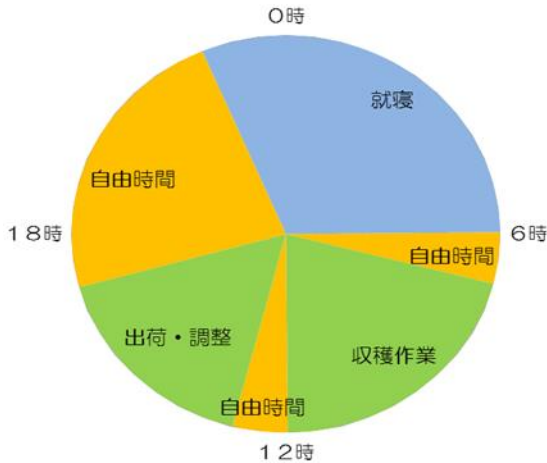


シェアリングコンバインでの刈り取り作業



自社のライスセンター

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

地域の人との繋がりを大切にするため、農業だけではなく、地元のお祭りや消防団、青年会議所等の地域活動も積極的に参加するよう心がけています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 作業（悪天候等により作業が少ない時が休日） →					
【普通期】	← 作業 →					→ 休日 ←



新居浜太鼓祭り



新居浜 FM78.0 に出演

☆これからの夢や目指すもの☆

ライスセンターの設備をさらに充実させ、将来的には 30~40 ヘクタールの作業受託を行いたいと考えています。少しでも農業を続ける人の作業負担を減らす手助けとなることで、地域の農業を守っていききたいです。

加工品のポン菓子、引き出物等の贈答品としての販路を拡大し、更なる経営の発展を図ります。

これからも、物づくり・人づくりを大切に、地域を巻き込んで農業の発展に貢献していききたいです。

☆メッセージ☆

神話の時代から行われてきた稲作。稲は「命の根っこ」です。これからも農業という職業に誇りをもって、こだわり抜いたお米をみなさんにお届けします。